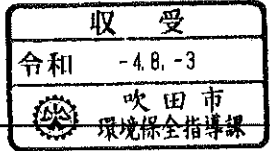


第520-273



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年6月30日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市南吹田4-19-5

氏名 (株)ダスキン 大阪中央工場  
工場長 高山 弘幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6378-5000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)ダスキン 大阪中央工場
事業場の所在地	大阪府吹田市南吹田4-19-5
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
(管理体制図)			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 ( 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 ( 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組)		

		【目標】	別紙1, 2のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)  
 現状：前年度(2021年度)実績量  
 計画：今年度(2022年度)計画量

単位:トン/年

コード	産業廃棄物の種類 名称	排出抑制に関する事項		自らが再生利用に関する事項		自らが中間処理に関する事項		自らが独立処分等に関する事項		処理委託に関する事項							
		排出量 (前年度実績値の①)		自らが再生利用を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+④)		自らが中間処理を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら独立処分又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物 の量 (前年度実績値の③+⑥)		優良認定処理業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑦)		再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑧)		認定回収業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑨)		認定回収業者以外の熱 回収を行う委託量 (前年度実績値の⑩)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
600	焼アスチンチック類A	10,350	20,000							10,350	20,000	10,350	20,000	0.000	0.000		
600	焼アスチンチック類(厚生)	43,860	45,000							43,860	45,000	43,860	45,000			10,760	12,000
600	焼アスチンチック類(厚質酸化/実タガ)	86,050	88,000							86,050	88,000	86,050	88,000				
600	焼アスチンチック類(厚質酸化)	116,570	115,000							116,570	115,000	116,570	115,000				
600	焼アスチンチック類(資源リサイクル)	48,632	50,000							48,632	50,000	48,632	50,000				
2200	管理型廃棄物(資源リサイクル)	23,870	40,000							23,870	40,000	23,870	40,000			0.000	0.000
800	木くず	4,290	5,000							4,290	5,000	4,290	5,000				
1300	ガラスくず	0,329	0,300							0,329	0,300	0,329	0,300				
2510	水銀 함유製品(電池・蛍光灯)	0,115	0,300							0,115	0,300	0,115	0,300				0,300
200	汚泥(廃水汚泥)	542,203	600,000			275,230	304,569			275,230	304,569	2,240	3,000	275,230	304,569		
200	汚泥(パキューム)	98,960	90,000							98,960	90,000	98,960	90,000				
600	焼アスチンチック類(磁石・厚質源)	22,400	10,000							22,400	10,000	22,400	10,000				
200	汚泥【研究所】	0,003	0,005							0,003	0,005	0,003	0,005				
120	金属くず【本部】	0,080	0,600							0,080	0,600	0,080	0,600				
2100	安定型混合汚染物【レントール】	60,580	60,000							60,580	60,000	60,580	60,000				
300	汚泥	1,020	1,000							1,020	1,000	1,020	1,000			1,020	1,000
	合計	1065,412	1125,205	0.000	0.000	0.000	304,569	0.000	0.000	788,439	830,774	235,344	249,955	653,450	665,474	10,907	12,300

※上記に分類できない産業廃棄物が係る場合に限り、至微へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下8桁表示として記入してください。

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	78 : 洗濯業
②事業の規模	工場売上金額 : 887百万円
③従業員数	300名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり (工程フロー1・2・3)

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

別紙のとおり【管理体制図】

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底による廃棄物の削減、リサイクル化の推進</li> <li>・廃水処理設備の修繕を計画的に実施。</li> </ul>
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き分別を行い、可能な限り排出量を削減する。</li> <li>・工程内のリサイクル推進、発生抑制を考慮した方法を検討する。</li> <li>・引き続き汚泥の脱水効率を高めていくとともに、廃水処理設備の更新・修繕を実施していく。</li> </ul>

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な廃棄物分別教育の実施。</li> <li>・処理ルール別に分別、保管をしている。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、定期的な廃棄物分別教育の実施。</li> </ul>



5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排水処理汚泥の中間処理による減量化
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状を維持する

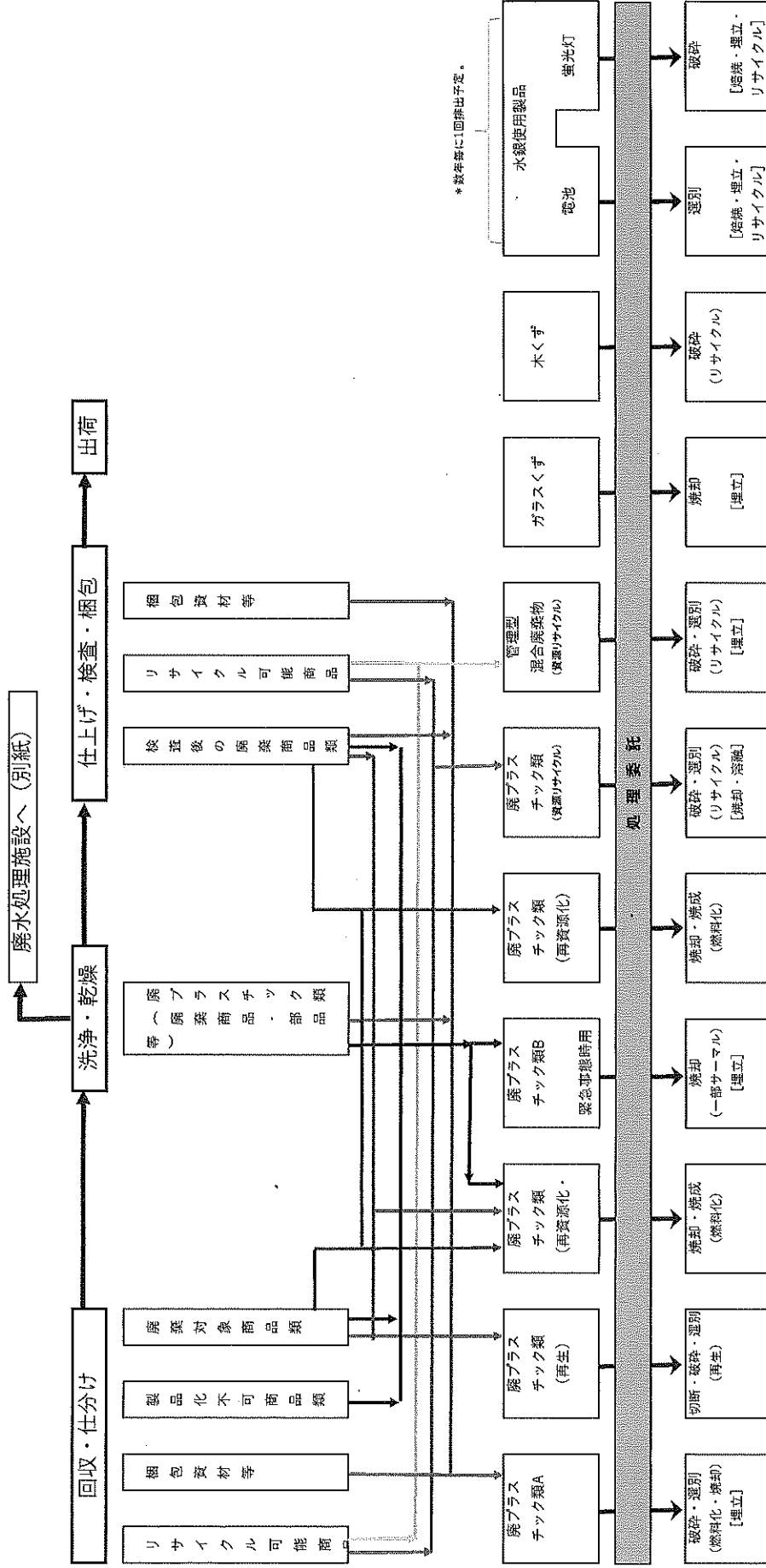
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

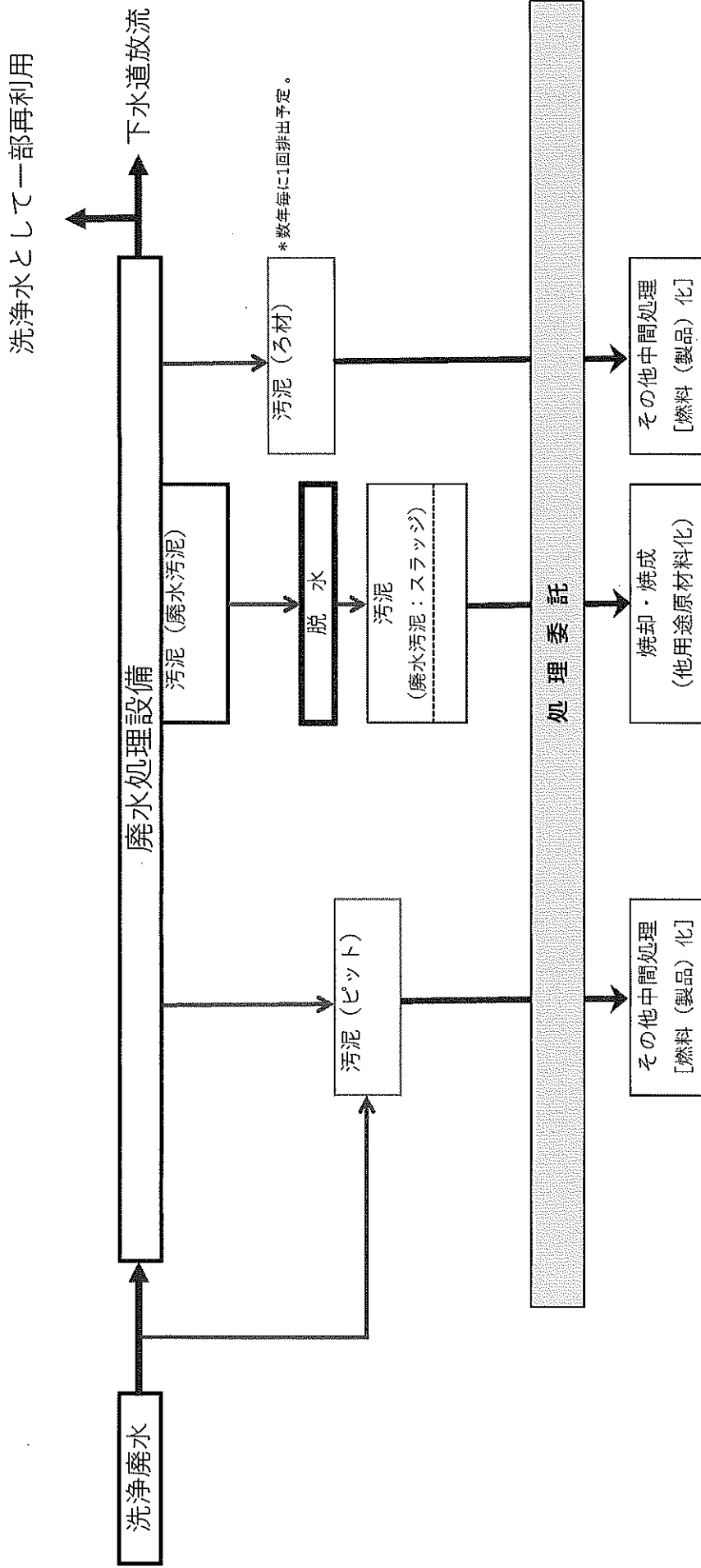
8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・分別の徹底による廃棄物の削減、リサイクル化の推進 ・廃水処理設備の修繕を計画的に実施。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き、定期的な廃棄物分別教育の実施。

◆物流(レンタル商品回収・仕分け) ⇒ 製造(洗浄加工・乾燥・梱包・検品・梱包)



◆ 廃水処理 汚泥脱水処理

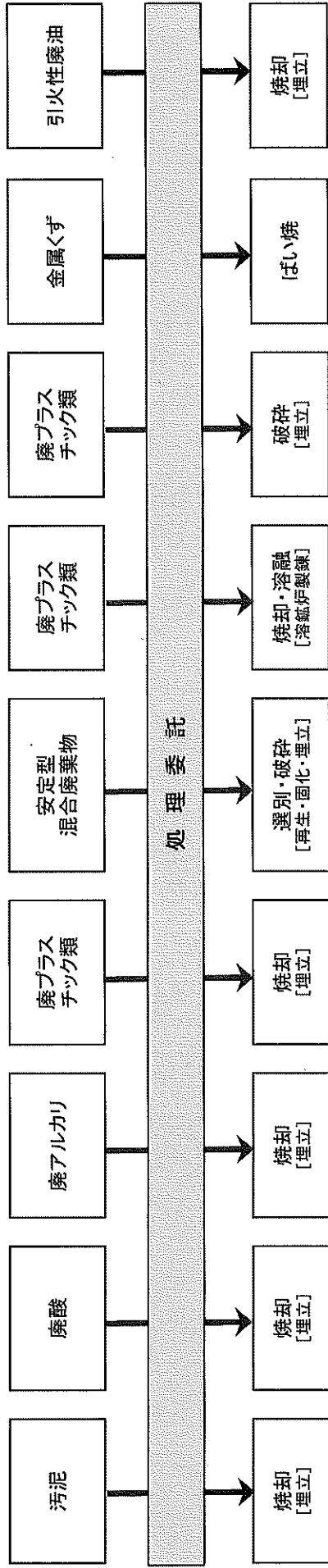


洗浄水として一部再利用

発生工程フローシート

令和3年度実績

◆その他



### 5.3 EMS運用組織図

#### 事業所名：大阪中央工場

環境管理 統括責任者	環境管理責任者	改訂版数	本部 第03版	事業所確認(更新日)
		制定日	2017.04.01	
		改訂日	2020.08.17	

